

ずっと変わらないものを  
大切にしていたら  
ずっと変わり続けていた



# RECRUITING GUIDE



社会福祉法人  
東京老人ホーム

# 東京老人ホームの歴史

創立当初から「愛～人を大切に思う心」を法人理念に掲げ、時代のニーズを発見し、新たな事業に果敢にチャレンジしてきました。今後も時代の変化に対応しながら、法人に関わる全ての人々に寄り添い、大切にしながら、ご利用者や地域の方々、そして職員が安心した生活を送ることのできる環境づくりに挑戦していきます。

## 1923年 東京老人ホームのはじまり

東京老人ホームは、関東大震災で被災した高齢者を日本福音ルーテル教会が救済したところから事業が始まりました。当初は緊急的に始められた高齢者救護でしたが、入所されている方や、東京都からの「家庭的な施設のため続けて欲しい」という声を受けて事業を続けていくことになりました。



## 1972年 全国初の配食サービス

食事作りが難しくなった地域の高齢者に、栄養のあるお食事をお届けする「配食サービス」を全国に先駆けてスタートしました。このサービスは食事をお届けするだけでなく、食事を配るボランティアさんと会話を交わすことで、一人暮らしの高齢者の孤独感を解消する役割も果たしています。



## 1980年 緊急通報システムの開発

1人暮らしの高齢者の緊急時通報に必要な機器の開発、実用化を武蔵野市福祉公社と協働で行いました。首から下げるペンダント型発報機のボタンを押せば、東京老人ホーム内の緊急対策センターへ知らせが届きます。今ではよく見かける緊急通報システムですが、これは日本で初めてのものです。



## 1995年 全国初の全室個室の特別養護老人ホーム

当時は慢性的な施設不足により、国から特別養護老人ホームの個室は定員の10%までとされていましたが、東京老人ホームは「最期の時まで人間らしい生活が送れるようにプライバシー、プライド、自由が守られるべき」という強い信念を持ち、全室個室の特別養護老人ホームの建設にこだわりました。何度となく国や東京都に対して交渉を重ねましたが、1990年の建設当初は全室個室が叶いませんでした。

しかし、諦めることなく交渉を重ねた結果、1995年1月に全国初となる全室個室化の特別養護老人ホームを誕生させることができました。



## 2016年 「おひさまカフェ」 オープン

法人のプロジェクトチームで企画を行い、物忘れのある高齢者がカフェのスタッフとなって活躍する「おひさまカフェ」をスタートさせました。「物忘れのある高齢者が主体的に活動できる場を提供し、やりがいを感じながら住み慣れた地域の中で張りのある生活を送っていただきたい」というコンセプトには、プロジェクトメンバーの想いが込められています。



## 2021年 「片付け支援事業」 スタート

## 2023年 「ひまわりの会」 スタート

## 2023年 12月 13日 法人創立 100周年



## 私たちの未来

介護保険制度下で、どの事業所も同じような運営が求められています。そのような中で必要となってきたのが“東京老人ホームらしさ”でした。

## 東京老人ホームが大切にしていける“私たちらしさ”

- 1 「今」何が求められているかということに気づく
- 2 何をおいても「先ず目の前にある求めに応える」「手を差し伸べる」というキリストの愛を実践する
- 3 本質的なものは忘れないが、常に新しい変化も取り入れていく
- 4 高齢者やその家族を支える職員を大切にするために、働きやすい環境を整える
- 5 終の棲家であるホームで、ご利用者・ご家族・職員がともに、最期の時まで「希望」のある未来を目指す

人生の最期の時まで家族や地域との絆が途切れないようその方らしく生き続けていただくために、私たちの目指すコミュニティの実現に向けて前進いたします。

## 地域に向けた取り組み

施設のご利用者だけでなく地域のニーズにも目を向けて、東京老人ホームならではの取り組みを実践しています。

### ●プロジェクトチームによる地域貢献活動

#### 片付け支援事業

様々な理由から家族や地域との繋がりがなくなり、片付けができずにお困りの高齢者のご自宅を無償で片付ける支援を行っています。これは住環境の整備だけが目的ではなく、片付け支援実施後に地域のネットワークを構築し介護サービスに繋げることで、継続的に地域で安全な生活を送っていただくことを目指しています。



#### ひまわりの会

閉じこもりがちで物忘れなどが出来た地域の高齢者が、自信を持って主体的に活動できる居場所づくりを目的としています。活動内容としては、東京老人ホームが参画している「花いっぱいプロジェクト」のメンバーの方が育てた花で作った押し花等の作品を近隣の学校の子どもたちにプレゼントしています。この交流を通して地域との繋がりを感じていただいています。



### ●子どもたちとの交流

東京老人ホームでは、未来を担う子どもたちに高齢福祉について学んでいただく機会を大切にしています。法人の周辺には教育機関が多くあるため、学校に出向いて車椅子操作や高齢者福祉についての授業をしたり、子どもたちが施設に来てご利用者と交流したりと様々な取り組みを行っています。



小学校への出張授業



近隣保育園との交流



小学生によるダンス披露

# 新入職員を大切に育成する



東京老人ホームの研修制度は、一人ひとりのペースに合わせて丁寧に進めていくのが特徴です。苦手に感じているケアに関しては重点的に研修を重ねながら、不安がなくなるようサポートしていきます。

## ■エルダー制度

入社から1年間、育成担当の「エルダー」が新入職員一人ひとりに付いて研修をサポートしていきます。新入職員とエルダーで定期的に振り返りを行い、新入職員が抱える悩みや不安を確認し、克服できるように一緒に目標を立てていきます。



## 特別養護老人ホームめぐみ園 介護支援室長 Sさん

めぐみ園では、介護が初めての方にも安心してもらえるように、エルダーを中心とした先輩職員が基本から丁寧に指導していきます。ただケアの方法を教えるのではなく、そのケアにどんな意味があるのかという根拠を伝え、様々な状況に合わせて柔軟に対応できるように育成することを心掛けています。

その他の研修では、実際に体験しながら学ぶ研修や、みんなで意見交換してお互いの気持ちを感じることで多くの研修を取り入れています。利用者役、介助者役に分かれてケアを体験することで、現状のケアについて改めて考える機会を作ったり、一つのテーマに関して職員同士で話し合うことで、職員が潜在的に持っている不安や悩み、疑問を共有し「自分だけじゃないんだ」という安心を得ることができるようになっています。

### 資格取得支援

資格取得時には5千円～10万円の資格取得手当を支給し、資格取得をバックアップしています。また、試験日前の勤務調整などにも柔軟に対応しています。東京老人ホームは残業が少ないため、働きながら資格取得をした先輩職員が大勢います！

### シスター＆ブラザー会

新入職員と若手先輩職員で結成するシスター＆ブラザー会では、先輩職員が企画して飲み会やBBQなどを行います。仕事以外のことでも気軽に相談できる場を設けることで、新入職員が気持ちよく仕事に向かえるようにサポートする制度です。

### ケアプラン担当

生活相談員へのキャリアラダーとして、社会福祉士の資格を持つ介護職員が「ケアプラン担当」として活躍しています。月に2日あるフリーの勤務日を利用して、ケアプランの作成補助などを行い、生活相談員の業務内容への理解を深めています。

## 若手職員が活躍できる職場環境



### わんわん村（ドッグセラピーイベント）担当

2021年入職 特別養護老人ホームめぐみ園ケアワーカー Yさん

年に2回開催する「わんわん村」は、セラピー犬との触れ合いにより、ご利用者に癒しを感じていただくことを目的とした、職員も楽しいイベントです。担当としては、計画書やポスターの作成、当日の写真撮影などを行っています。セラピー犬との触れ合いを通じて、ご利用者が笑顔で楽しんでいる様子や、普段は見ることのできない新たな一面を見ることが業務へのやりがいへと繋がっています。また、ご家族が面会に来た時に、イベントでのご様子をお伝えするととても喜んでいただけるのが、次の頑張りに繋がります。



### MEGU HOUSE（衣類訪問販売イベント）担当

2021年入職 特別養護老人ホームめぐみ園ケアワーカー Oさん

MEGU HOUSEは直接手に取って買い物ができるので、外出の機会が少ないご利用者からとても好評です。担当の業務は、ご利用者用のポスター作りや職員への周知などがあります。また、生活相談員や介護支援室長と連携して、お一人ごとの買い物の上限金額や、実際の購入金額が間違っていないかの確認を行うなど、各フロアの担当者と分担しながらイベントの準備をしています。イベントを開催する中で印象的だったのは、1時間近く真剣に悩まれていた方が、買い物を終えた際に満面の笑みを見せてくれたことです。「楽しかった」「昔はよく服を見に行ってたのよ」と笑顔で楽しんでいる姿を見ると達成感にも繋がります！



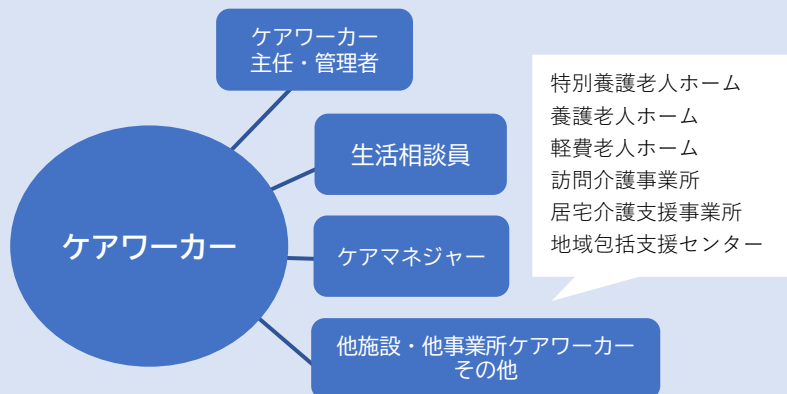
### SNSプロジェクト担当

2019年入職 特別養護老人ホームめぐみ園ケアワーカー Mさん

採用活動中の学生に法人の魅力をってもらうために、Instagramを始めました。働いている職員の様子や施設の行事等を紹介し、リアルな東京老人ホームの様子が伝わるようにしています。担当の仕事としては、自部署で投稿できる内容をピックアップし、写真の選定と文章作成を行っています。なるべく多くの情報を発信できるように、部署内でも意見をもらいながら投稿内容を決めています。プライベートのInstagramでは、自分の好きな物や好きなことを投稿すれば良かったのですが、学生の目に留まる投稿となると難しさを実感しています。まだまだ始めたばかりなので、プロジェクトメンバーと相談しながら、より魅力が伝わる投稿づくりに励んでいきます！

## 多様な働き方

東京老人ホームでは様々な事業を運営しているため、一つの部署でキャリアを積む以外に、他施設・他事業所で異なる支援方法を学ぶことや、他職種として新たなキャリアを築くことができます。毎年1回、職員から異動希望も受け付けています。



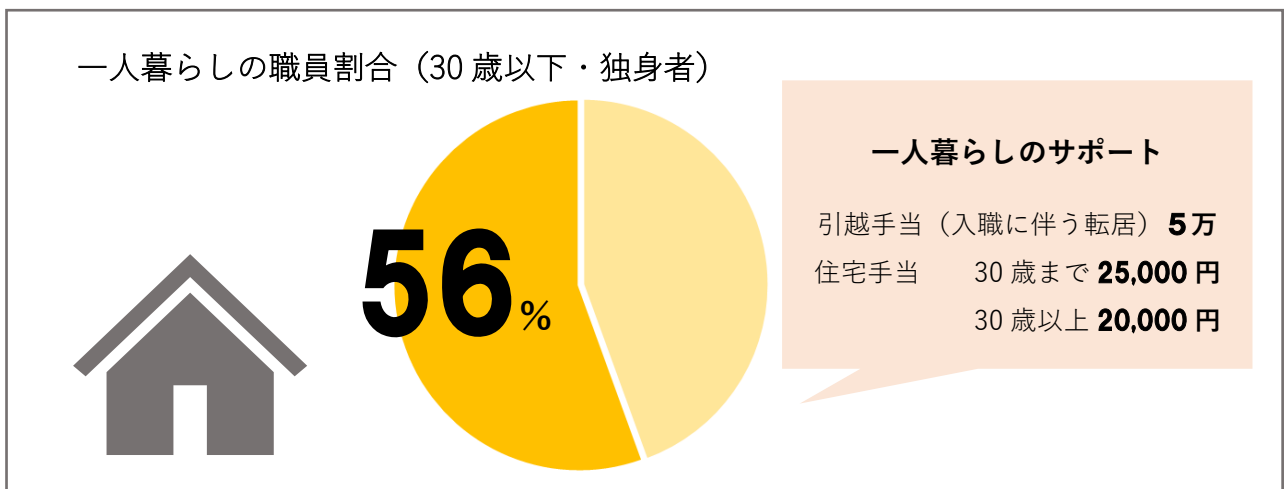
※事業所は全て西東京市内のため、転勤はありません。

# 安心して長く働ける職場環境

特別養護老人ホームめぐみ園ケアワーカーの場合・2022 年度実績

## ●給与

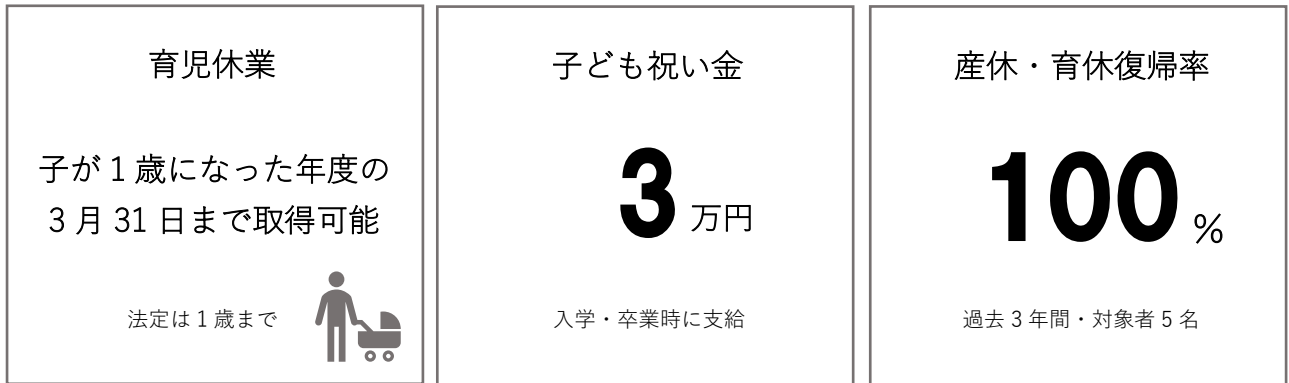
大卒 1 年目の月給例  約 <b>25.5</b> 万円  基本給 190,000 円に 処遇改善手当・夜勤手当 4 回分含む	賞与  平均 <b>4.7</b> ヶ月	入職 2 年目の年収例  約 <b>430</b> 万円  夜勤月 4 回・住宅手当ありの場合 残業代は実績に応じて別途支給
---	----------------------------	---



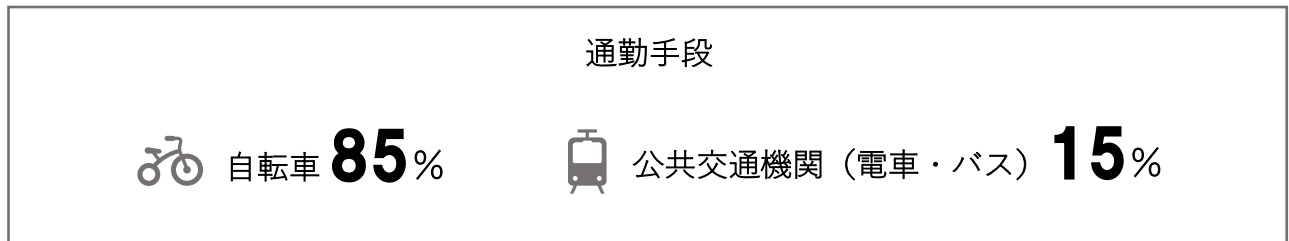
## ●働き方

月の残業時間  平均 <b>4.5</b> 時間  	残業時間数  3 時間未満 <b>19%</b> 3~5 時間未満 <b>62%</b> 5~10 時間未満 <b>14%</b> 10~15 時間未満 <b>5%</b>	
リフレッシュ休暇  5 年毎に <b>5</b> 連休	有給取得日数  平均 <b>9.5</b> 日  	月の夜勤回数  平均 <b>4</b> 回  夜勤明けの翌日は原則公休

## ●子育て支援



## ●その他



特別養護老人ホームめぐみ園  
リーダー ケアワーカーIさん

他法人が運営する特別養護老人ホームや一般企業の営業職を経て、中途職員として東京老人ホームに入職しました。転職の際には、住宅や家庭にかかる費用があるため、安定した収入が見込める職場を探していました。東京老人ホームは、持ち家でも20,000円の住宅手当（世帯主）や、扶養家族1人につき10,000円の家族手当があり福利厚生が充実しています。賞与も平均4.7ヶ月という実績があり、収入面では安心して入職することができました。

働き方の面でも、遅番の翌日に早番という体力的に辛いシフトは避けた勤務体制になっており、職員の体調に配慮してくれています。他の法人では、遅番の翌日に早番の勤務は通常シフトと捉えている施設が多いので、有難く感じます。

また、上司が話を聞いてくれるのも私が所属するめぐみ園の良いところです。やりたい事を伝えると、（実現できるかは内容次第ですが）しっかりと耳を傾けて実現に向けた後押しをしてくれます。

さらに、入職して驚いたのは若手職員が多く活気があること。「業務に意欲的に取り組む若手職員たちを、中堅からベテラン層の職員が支える」体制の下、良い人間関係が築けているのもめぐみ園の特徴です。



---

**法人名** 社会福祉法人東京老人ホーム

---

**所在地** 〒202-0022 東京都西東京市柳沢 4-1-3  
TEL：042-461-2230 FAX:042-461-2280

---

**創立** 1923年

---

**職員数** 148名（2024年1月時点）

---

**【施設事業】**

特別養護老人ホームめぐみ園  
養護老人ホーム東京老人ホーム  
軽費老人ホーム東京老人ホーム泉寮

**事業内容**

**【在宅事業】**

めぐみ園ホームヘルプサービス  
めぐみ園指定居宅介護支援事業所

**【受託事業】**

富士町地域包括支援センター  
西東京市高齢者見守り配食サービス

---

## 採用に関するお問い合わせ

社会福祉法人東京老人ホーム  
〒202-0022 東京都西東京市柳沢 4-1-3  
TEL：042-461-2230  
e-mail：saiyou@tokyo-rojin-home.or.jp  
担当：事務室総務 新卒採用担当



Instagram



東京老人ホーム HP